

## 公益財団法人岐阜県浄水事業公社職員倫理憲章 実行計画

今般の不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、公社職員としての基本理念を示すために平成19年8月1日に制定した「公益財団法人岐阜県浄水事業公社職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり公益財団法人岐阜県浄水事業公社実行計画を定めます。

令和4年7月20日

### 1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

#### 【取組事項】

- 「各務原浄化センターは、すべての人から信頼され親しまれる施設を目指し、美しい自然環境と暮らしやすい生活環境を次世代へ継承する」というISOの環境理念を遵守します。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し無事故・無違反を徹底します。
- 職務遂行と直接関係のない職員個人の行為についても、公社に対する信頼を失なわせることのないよう、職場研修を通じて、公私を問わず法令の遵守や信用失墜行為の禁止について職員の自覚と認識を深めます。
- 契約事務等の業務の遂行にあたっては、常に公平・公正に対応し、公社の運営に努めます。

### 2 公社事業の財源は関係市町の負担金により賄われていることから、公金の重みを深く認識し、無駄のない事務を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

#### 【取組事項】

- ISO14001に基づき、無駄づかいを無くし、事務用品購入経費の削減、エネルギーの削減に努めるとともに、常にコスト意識を持ち業務を遂行するよう徹底します。
- 職員の時間管理意識の徹底や管理部長などの管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫による業務の効率化等により、時間外勤務の縮減に努めます。

### 3 公社職員としての自覚を高め、質の高いサービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

#### 【取組事項】

- 4市6町による流域下水道事業の推進に向けて、新聞やインターネット等から国・県や他県

の下水道公社の動向などの情報収集を積極的に行い、収集した情報は職員全員回覧により情報の共有を図ります。

- 職員は、業務に関連した研修会等に積極的に参加し、専門的能力・知識を習得するとともに、共有すべき情報については、勉強会を開催するなど自己研鑽に努めます。
- 職員は、所管業務に関する知識等の習得とともに、県及び市町村職員の下水道技術の向上を支援するため、施設管理上の安全・衛生対策や大規模地震発生時の対応等をテーマとする「下水道講習会」を開催し、下水道技術者の養成に努めます。

#### 4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

##### 【取組事項】

- あらゆる不測事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう緊急連絡網を整備し、情報伝達訓練や関係機関と連携した大規模災害を想定したシミュレーション訓練を行います。
- 公園施設・水処理施設及び場外施設の状況を把握し、事故等の未然防止に努めます。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く危機等を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止するよう徹底します。

#### 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

##### 【取組事項】

- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により速やかに全職員・関係機関に情報伝達を行い、発生状況や事故原因を把握・分析し、県民への情報提供を速やかに行います。
- 災害・事故等が発生した場合には、速やかに関係機関等と連絡を取り、迅速な対策を講じるとともに再発防止に努めます。

#### 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

##### 【取組事項】

- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 公社内課長会議や担当内の打合せなどを定期的実施し、年間スケジュール表を用いた業務の進捗状況などについて職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊

達な議論を行います。

- 県や市町及び関係機関との連絡調整を積極的に図り業務の遂行に努めます。

## 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

### 【取組事項】

- 職員は、定期的に各務原浄化センター周囲の清掃活動を行うとともに、地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動）への参加を通じて得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックするよう努めます。
- 事務事業の見直しによる仕事量の削減、内部事務の効率化による業務改革の徹底などにより、時間外勤務の縮減に努めるとともに、年次休暇等の取得を勧め、職員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。

## 8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 公社全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 施設見学等を積極的に呼びかけ、県民の意見や考えをお聴きし、事業や施設管理に活かします。

### 【取組事項】

- 公社ホームページやマスコミなどを活用し、流域下水道に関する情報を県民の皆様に適時・的確に提供します。
- 関係機関との意見交換会を開催し、次年度以降の効果的な事業実施につなげていきます。